

地域とJAを結ぶ、心ふれあう情報誌



夢彦

2

2025

vol. 330 ふれあいだより

JA京都 **にのくに**

<https://ja-kyotoninokuni.or.jp>



ja_kyotoninokuni

公式LINEアカウント
「ふれ愛」



JA京都にのくに女性部朝来支部「ベラ・ノンナ」の皆さん

P 2. 2025年度地域農業振興 ～気候変動に挑む地域農業の未来～

P 6. にのくにびと JA京都にのくに女性部朝来支部「ベラ・ノンナ」



2025年度の地域農業振興 ～気候変動に挑む地域農業の未来～

近年、夏の猛暑は私たちの食卓を支える農作物にも大きな影響を与えています。

JAでは、気候変動に対処し、地域の食と農業を守るため、さまざまな取り組みを進めています。

今回は次年度の農業振興の基本方針である「2025年度地域農業振興方策」より
その取り組みをご紹介します。

1 気候変動がもたらす影響

私たちの地域で大切に育てられている水稲、万願寺甘とう、茶などの特産物は、夏の高温によって収穫量の減少や品質の低下といった影響を受けています。例えば、水稲では高温による不稔（穂に米が実らない）や白未熟米の増加、万願寺甘とうでは日焼けや病気の発生、茶では夏芽の生育不良などが起きています。また、特に水稲ではイネカメムシなどの害虫の発生も増加しています。

2 高温対策への取り組み

こうした状況に対し、JAではさまざまな対策を講じています。水稲では、高温に強い品種の導入試験や適切な水管理・施肥技術の指導を行っています。万願寺甘とうでは、遮光資材の活用や高温に強い台木の導入試験を進めています。このほかに、小豆や丹波くりなど、今後生産を拡大していく特産物についても、高温対策の研究を進めています。

3 地域を代表する特産物

水稲

中丹米振興協議会と連携し、現地講習会などを通じて水管理・施肥技術等の栽培指導をさらに進めることで収量と品質の両立を図り、販売先との信頼関係の強化を通じて、他産地の情勢に左右されにくい将来を見据えた販売体制の確立に努めます。



万願寺甘とう

実需者からの要望に応えるため、生産量の向上に向けた検討を部会協議会と進め、出荷量、品質、安全・安心など、販売先から信頼される産地を維持しつつ、面積当たり収穫量の向上など生産拡大に向けた取り組みを進めます。



茶

最高級の両丹茶の生産を目指し、関係機関と連携し収穫量の拡大に向けて取り組んでいます。また、全国茶品評会をはじめとしたさまざまな品評会での上位入賞や産地賞受賞に向けて栽培技術・加工技術の向上に取り組んでいます。



4 未来への挑戦 ～特産物の育成～

当JAでは、小豆、紫ずきん、丹波くり、黒大豆、えびいもといった、地域ブランド力の高い特産物の生産拡大を目指しています。特に、紫ずきんは収益性の高い品目として、新規生産者の確保を進めています。



5 地元農産物の魅力を発信 ～彩菜館の取り組み～

農産物直売所「彩菜館」では、地元農産物の販売を通じて、地域活性化に貢献しています。イベント開催による地域住民との交流や消費者組織「さいさい＊くらぶ」の拡充などを通じて、地産地消に取り組んでいます。



6 新たな農業を担う 人材育成 ～野菜の学校～

地域の独自性を活かした品目を主体とした「野菜の学校」を開校し、新たに農業を担う人材育成に取り組んでいます。

7 安全・安心な食のために

SDGsの目標達成に向け、地産地消運動の推進や環境に配慮した農業を推進しています。また、特産物には栽培管理や防除の指針を作成し、農薬の適正使用を徹底することで、食の安全・安心を確保しています。



当JAは、気候変動という課題に立ち向かいながら、地域の農業と食を守り、未来へとつなげていくために、さまざまな取り組みを進めています。これからも、地域の皆さまと手を取り合い、豊かな食卓を未来へとつないでまいります。

野菜の学校 受講生募集!

JA 京都にのくにでは、地域農業を支える農業者の育成に向けて、「野菜の学校」の受講生を募集しています。

JA 京都にのくにの特産物を中心に講義・実習を実施します。この機会にぜひお申し込みください。

実施期間：2025年4月～12月(月2回程度)

内 容：野菜作りの基礎講座及び圃場実習

会 場：全農京都北部物流センター及び近隣圃場(綾部市井倉新町)

募集人員：25名程度(応募者多数の場合は抽選となります)

**応募資格：70歳以下のJA 京都にのくに組合員
(または組合員になっていただける方
ご自身で会場までお越しいただける方)**

年会費：10,000円(教材費等別途)

募集期間：2025年2月28日(金)まで

※3月12日(水)午後1時30分～受講内容等の入学説明会を行います。また、入学申込書は入学説明会を行ってからお渡しします。※受講人数によっては、開催を見合わせていただく場合がございます。

お申し込み・お問い合わせ先 ▶ JA 京都にのくに営農経済部(綾部市宮代町前田20) TEL : 0773-42-1814

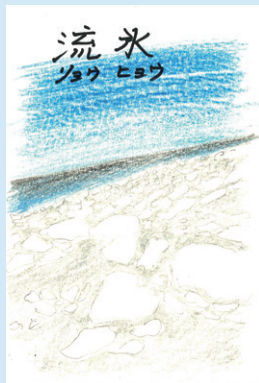
1月



綾部市
大槻 郁代さん



綾部市
前田 暁代さん



舞鶴市
今田 良子さん



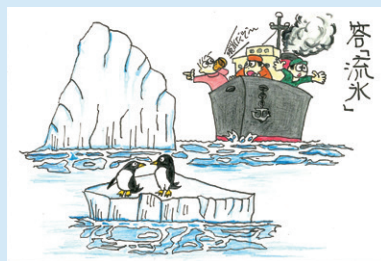
福知山市
四方 ふみ子さん



福知山市
細見 毅さん



綾部市
通山 隆明さん



舞鶴市
大野 翼さん



舞鶴市
永野 功子さん

1月の /
伝言板

2025年新春座談会を読ませていただき、若い方たちがしっかり自分を持っていることに感心しました。前に向かって頑張っている姿には、元気をもらいました。うれしいですね。

舞鶴市 田中 久子さん

近年、高温で米作りが難しくなってきました。味も落ちたように感じます。高温に強い品種に改良していただいて、食味の良い米作りが続けられたらうれしいです。

福知山市 T・Mさん

元日、脱ぐ所の無いくらいの靴！靴！靴！七人とねこ一匹のお客様でした。5日には全員自宅に戻り、一足も無い靴に「グッ！」と淋しさが押しよせました。ウルツと来たのも、年を重ねたせいでしょうかね。みんな、今年も家内安全、健康で進んでいこうね。

綾部市 ペンネーム あやべのばあばさん

万願寺甘とうのニュースを観ました。彩菜館でのPRイベントも楽しそうでした。万願寺甘とうを焼いて、しょうがじょうゆで食べるのが好きです。彩菜館で、新鮮な野菜を購入して料理をしていただいて、元気をもらっています。

綾部市 山口 喜美子さん

昨年の野菜の出来は、本当に悪かったです。夏の猛暑と、残暑の厳しく長かったのが災いしたのは明らかです。そんな中でも、上手に作られている方もありました。さぞかし、水やりや温度管理をこまめにされていたのでしょうか。野菜愛を感じました。

福知山市 中島 ふみ子さん

今月の一枚



本店での一枚。綾部市奥上林小学校の卒業記念として制作された光明寺の国宝二王門の版画作品。詳細は不明ながら、昭和46年3月に同小学校を卒業した児童の卒業記念として制作された版画作品が、旧綾部市農協奥上林支店に寄贈されたものと推察されます。制作から50年以上が経過し、著しく傷んでいたため、このたび補修・装丁作業を行い、現在は本店大会議室に展示しております。

Art Gallery

12月



綾部市 塩尻 みどりさん



舞鶴市 梅垣 好さん



福知山市 ペンネーム オリフボン育人さん



舞鶴市 田端 みつ子さん



福知山市 井上 春菜さん

12月の / 伝言板

12月号に、「子ども食堂あいこのいえ」が詳しく紹介されていきました。彩菜館(西舞鶴店)へ野菜を少し出荷しているのですが、ジャガイモ、サトイモ、サツマイモなどには規格外の品物も多く、レシ奥の「子ども食堂」用のカゴへ入れさせてもらっています。子どもさんたちのコロッケやスイートポテトに使ってもらえたらうれしいです。お世話される皆様、ご苦労様です。

舞鶴市 ペンネーム クログロさん

「野菜づくり教室」を読んで土作りを考えて、自分の作った野菜を食べること!! 大江に暮らせて幸せ。 福知山市 大西京さん

12月も半ば、まだまだと思っていたら、あつという間に迎春の準備時期になりました。しめ縄作りの教室に参加しました。初めてのしめ縄は、JAの野菜の学校での体験でした。今回は、わらをそぐところからで、時間はかかりましたが、できたのでうれしかったです。 福知山市 平野恵さん

これからは冬場に向け、道は落ち葉がいっぱいで大変です。山奥での生活は、雪が降り、2月まで苦労の数ヶ月!! 福知山市 川勝豊さん

彩菜館、いつも利用しています。スーパーだと250円の大根が100円で買えたり、ユズ、レモン、菊などで季節を感じられるので、店内を回るのが楽しみです。先日は、お正月用に神崎のピーナツを購入しました。 舞鶴市 ペンネーム あひるさん

「野菜づくり教室」の記事について、少しばかり野菜作りをしています。土についてあまり深く考えずに耕作してました。今回の記事にて土質の大切さ、知識を知ることができました。来期は、記事を参考にして土作りに挑戦しようと思います。

福知山市 ペンネーム sakoyuki

酷暑続きであったあの夏、そして短かった秋。紅葉の期間も、長かったのか短かったのか? 早や雪の便り、師走も半ばになりました。「日本の四季」の風情はどうなっていくのでしょうか。もう半月もするとお正月なんて、少しもその気にならない昨今です。さあ! お掃除、急がなくなちゃ。どうか来る年は地球にとって、そう農作物にとって、やさしい気候であってほしいと願います。

綾部市 田中 昌代さん



朝来中公会堂にて。
楽しく賑やかに練習が進む。

JA京都にのくに女性部朝来支部「ベラ・ノンナ」 生活用品を楽器に 地域を楽しく盛り上げる

協同活動によって親睦や連携を深め、住みよい地域づくりを目指して発足した「JA京都にのくに女性部」では、さまざまなグループ活動を行っています。その中の一つ、舞鶴市朝来地区の女性部には、生活用品を楽器に見立てて「当て振り」を楽しむグループがあります。活動の様子を拝見しました。

生活用品で奏でる 元気な音楽

カンカンカン！軽快な浪花節のメロディーに合わせた力強い音が響く。訪ねたのは舞鶴市の東部、朝来中公会堂の一室。ここに集まっているのは、イタリア語で「かわいいおばあちゃん」を意味する「ベラ・ノンナ」の皆さん。JA京都にのくに女性部の朝来支部に所属する10名で結成された「当て振り」の演奏グループだ。「当て振り」とは、音楽に合わせてあたたかも演奏をしているように見せることを指すが、「ベラ・ノンナ」の皆さんのパフォーマンスはひと味違う。ヘラやフライパン、樽、スコップといった生活用品を持ち、それらを打ったり擦ったりして音を鳴らしているから、パーカッションの合奏と表現する方が近い

かもしれない。しかし、歌唱をまねるボーカル担当もいてコピーバンドのようにも見える。そのユニークなスタイルが魅力的で、何より元気の良い音とメンバーの笑顔が印象的だ。

スコップ三味線が きっかけに！

「楽しい」を広げる活動

「みんなでなにか楽しいことができないかと悩んでいたときに偶然見たスコップ三味線をやってみたくと思ったのが始まりです。『これも楽器になるじゃないか』とアイデアを出し合った結果、いろいろな道具を使うようになりました」と話すのは発起人の林佳代子さん。「スコップ三味線」とはスコップを三味線に見立て、栓抜きをバチ代わりにして叩く青森県津軽地方発祥の芸。大きなスコップを打ち鳴らす姿は存在感があり、グループの軸となっている。スコップ三味線を担当



(上) 楽器として使われている生活用品。
(中) 「スコップ三味線」はスコップの背面を栓抜きで叩いたり擦ったりして音を出す。
(下) 昨年10月の合同感謝祭2024でのステージの様子。

する吉田寿子さんは「気を付けているのは音の重なり。それから各々の見せ場があるようにパート分けをしています」と話す。見せ方をこだわるうちに歌唱担当が加わり、曲によってはダンス担当も登場する現在の形へ発展した。「難しい技はさておき、みんな楽しんで」をモットーに、毎年2曲は新しい曲にも挑戦している。「地域の皆さんが私たちの姿を見て元気になったと言ってくださるのがとてもうれしい」と語るのはグループをまとめる吉田かず子さん。演奏を聴いていると心が弾み、自然と体が動く。それは軽快な音だけでなく、皆さんの楽しむ気持ちが伝わってくるからだろ。今では活動が評判を呼び、年に4回ほど披露するまでになった。今年はずでに2月末のイベントへの出演が決まっている。これまで培ってきたチームワークを活かし、多くの人々に笑顔と活力を届ける「ベラ・ノンナ」の皆さん。今後の活躍にも期待が膨らむ。

■ JA京都にのくに青壮年部

JA常勤役員との意見交換会を開催

JA京都にのくに青壮年部は1月15日、本店茶業センターにて「JA常勤役員との意見交換会」を開催しました。

この意見交換会はJAの事業運営に対して、地域営農リーダー・担い手である「青壮年部」の立場から意見や要望を述べるもので、協同活動・青壮年部活動の発展に寄与するために毎年開催しています。今年は資材価格や農産物価格の高騰など、青壮年部をはじめ生産者が直面している問題を積極的に議論しました。

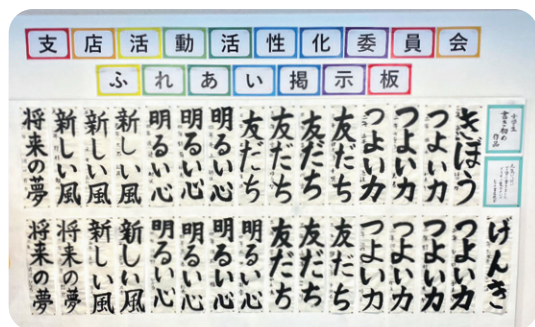


意見を述べる西山部長

■ 舞鶴東支店活動活性化委員会

地域の子どもたちの力作がずらり

1月上旬、舞鶴東支店前のロビーに設置している「ふれあい掲示板」に地域の書道教室に通う小学生が書いた「書き初め」を展示しました。子どもたちの力強い筆致に来店者の方々も足を止め、作品を楽しまれました。



力強い作品が揃いました

■ 小豆品評会

地域の小豆が一堂に会す

1月7日、本店茶業センターで小豆品評会が開催されました。中丹地域の特産品である小豆の生産拡大を目的としたこの品評会で、7名の審査員による厳正な審査が行われました。品評会では出荷量と外観を基準に審査され、審査員は色や粒、形が揃っているかを一点一点確認しました。



外観を確認する審査員

組合員に加入して、農業と地域の発展を支えませんか？

JAは助け合いの精神に基づき、組合員の営農と生活を守り、より良い地域社会の実現を目指しています。あなたも組合員として、農業と地域の発展を支えてみませんか？

組合員になれば、JAの事業やサービスをよりお得にご利用いただけるだけでなく、農業の振興を通じて安全・安心な食料供給などにもご貢献いただけます。

詳しくは、お近くの支店までお問い合わせください。



■ JA共済京都府小・中学生書道コンクール

川角さんが 京都府教育委員会教育長賞を受賞

昨年12月14日、京都市内で「JA共済京都府小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール表彰式」が開催され、書道コンクール半紙の部で京都府教育委員会教育長賞・条幅の部で京都府農業協同組合中央会会長賞を受賞された舞鶴市立中筋小学校の川角星愛さんをはじめ3人の生徒・児童を招待し、表彰を受けていただきました。



教育長賞を受賞された川角さん

農業に関する
様々な質問に
お答えします

営農経済部の 野菜づくり教室

スナップエンドウ

連作障害が出やすいため、4〜5年以上エンドウを栽培していない圃場を使いましょう。

通常、播種は10月〜11月に行いますが、今回は春まきの栽培を紹介します。

【圃場準備】

種まきの半月前に圃場準備を行います。非常に酸性に弱い作物のため、酸性傾向の圃場では、苦土石灰を1aあたり10kg散布してから耕します。そして、和知有機を1aあたり80kg、元肥にのくに有機を施用する場合は、1aあたり30kg施用し、土と混ぜます。

【植え付け】

畝幅は60cmです。3月上旬に種まきをします。

直播の場合

マルチをし、株間40cm間隔で穴をあけ、1穴に4〜5粒ずつ種をまきます。覆土は厚くせず、2cmほど被せます。

育苗の場合

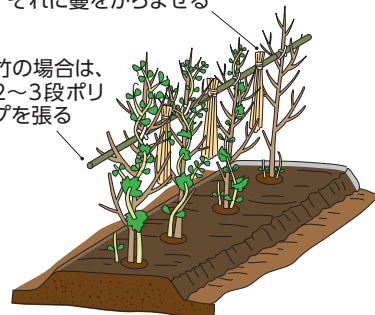
豆類は播種後から発芽までの期間に鳥害に遭う可能性があるため、ポットで育苗後に定植するという方法もあります。

1つのポットに3粒ほどまき、本葉1〜2枚に展開したときに1〜2本になるように間引きをします。本葉3〜4枚で完成です。育苗期間はおよそ1か月間です。

生育盛期の姿

枝が少なければ、わらを吊るしてそれを蔓をからませる

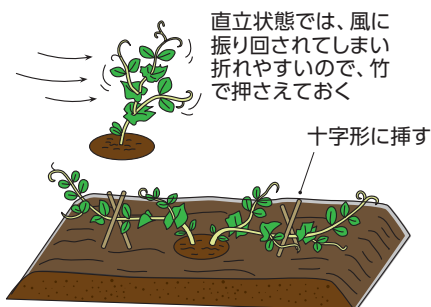
支柱竹の場合は、横に2〜3段ポリテープを張る



【追肥】

直播の場合は種まきから1ヵ月後、育苗をした場合は定植後に約30cmの仮支柱を立てます。直立状態では、風に振り回され、土を湿らせてからマルチをし、株間40cmで定植をします。

追肥は2回です。肥料はマルチの肩にまきます。1回目は、4月下旬ごろの勢いよく根が伸びだしたころ、マルチをめぐり、畝の片側に野菜の達人を1aあたり5kgまき、土と混ぜながら畝を形づくりします。2回目の追肥は、5月下旬、盛んに開花するようになったら、前回と反対側に前回と同じく、畝の片側に野菜の達人を1aあたり5kgまき、土と混ぜながら畝を形づくりします。

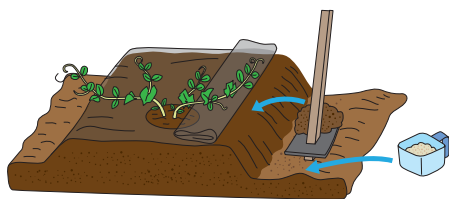


直立状態では、風に振り回され、土を湿らせてからマルチをし、株間40cmで定植をします。

十字形に挿す

【収穫】

6月ごろの子実が太ってきたころに手やはさみでサヤ元を切って収穫します。

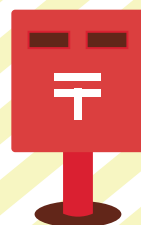


〈1株当たり〉化学肥料 大きじ1杯

野菜に関する
疑問・質問
大募集!!

野菜づくり教室は、農業に関する様々な質問にお答えするコーナーとなりますので、ハガキやEメールでどしどしお寄せください。皆さまからの声をお待ちしております。

〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田20番地
JA京都にのくに 営農経済部 野菜づくり教室 係
einoukikaku@ja-kyotoninokuni.or.jp

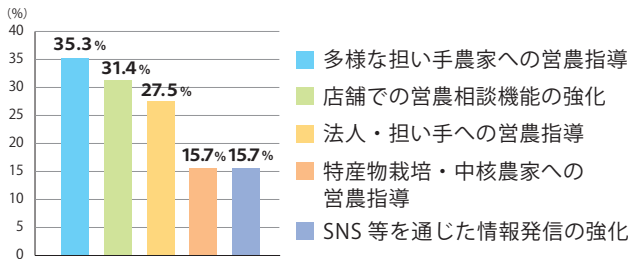


JA京都にのくに組合員アンケート結果について②

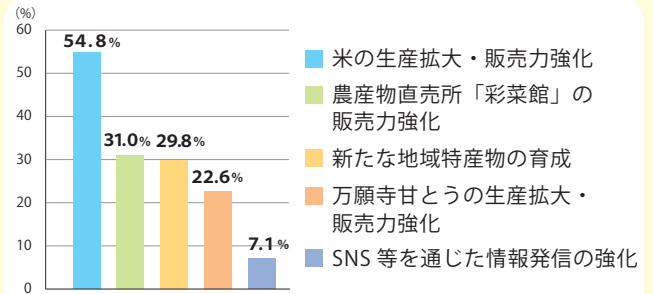
先月号に引き続き、組合員アンケート結果をご紹介します。今回は、「当JAへの期待」についてです。

当JAへの期待（複数回答可）

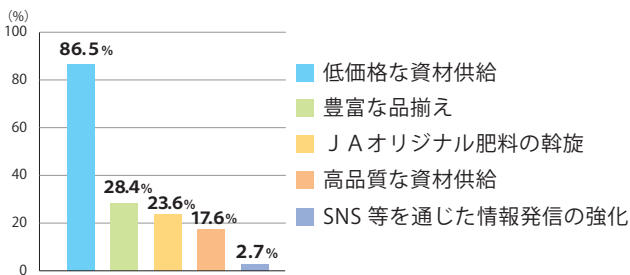
1. 営農指導



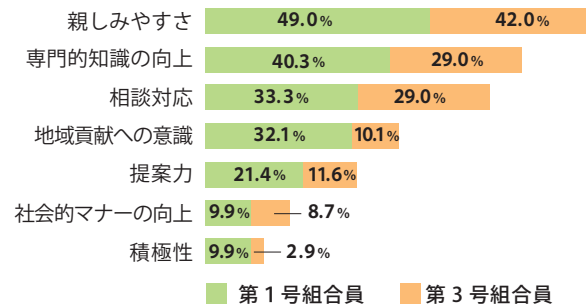
2. 販売事業



3. 購買事業



4. 職員への期待



■その他、信用・共済事業については、「窓口対応」や「相談業務」の強化にたくさんの期待をいただいております。

■また、職員への期待を聞いたところ、多くの組合員が「親しみやすさ」を挙げ、次いで「専門的知識」や「相談対応」「提案力」の向上を挙げています。

5. JAは、今後とも“地域になくてはならないJA”として存続するため、「持続可能な経営基盤の確立・強化」に取り組んでいますが、今後どのような取り組みに力を入れると良いですか？（複数回答可）

①組合員・利用者ニーズの把握	62.7%
②業務の効率化に向けた事業の選択と集中	28.1%
③職員教育の専門性・高度化	24.9%

■回答者の6割以上が、「組合員・利用者ニーズの把握」をしたうえで、持続可能な経営基盤の確立・強化への取り組みを望んでいます。今後とも、さまざまな場づくりを通じて、組合員・利用者ニーズの把握に努めるとともに、さらなる「業務の効率化に向けた事業の選択と集中」に取り組んでまいります。

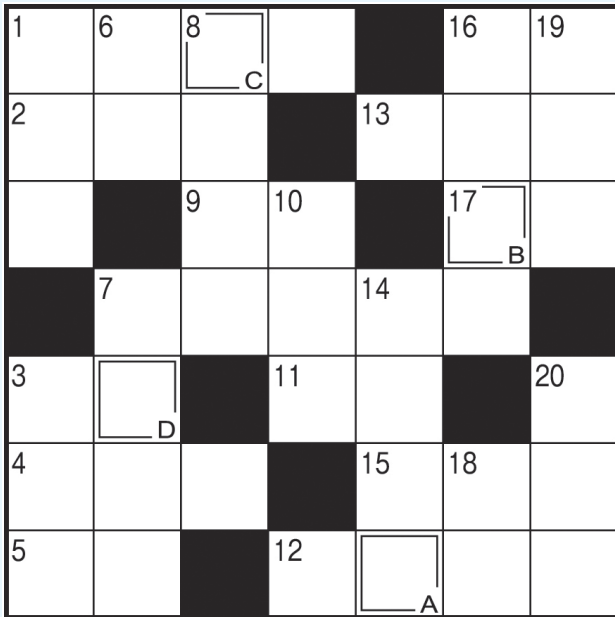
次期3か年計画策定をスタート！

当JAでは、次期3か年計画(2025~2027年度)の策定をスタートしております。今回のアンケート結果から組合員・地域住民のみなさんの思いなどを十分に把握したうえで、取り進めてまいりますので、是非ご期待ください！

クロスワードパズル



締め切りは **2月21日(金)**
【当日消印有効】発表は3月号



解き方

タテ・ヨコを全部解き、A→Dの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。



タテのカギ

- ① ——造って魂入れず
- ③ ニワトリの頭についています
- ⑥ エックスの次です
- ⑦ 赤の広場やクレムリンがあります
- ⑧ 卒業証書の——は
筒よりファイルが主流になりました
- ⑩ 脚本に書かれているセリフ以外の文章
- ⑭ 地球を暖める天体
- ⑯ ひな祭りのお吸い物につきものの貝
- ⑱ ひな祭りに飾る花
- ⑲ 春の景色がぼんやりとして見える原因
- ⑳ 細川たかしのヒット曲「——の渡し」

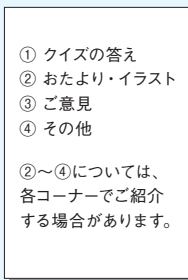
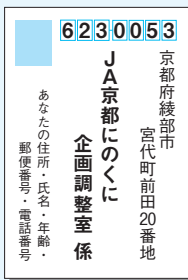
ヨコのカギ

- ① 3月14日は——デー。
バレンタインデーのお返しを渡すのによい日です
- ② お手洗いともいいます
- ③ バレーボールのセッターが上げるもの
- ④ 梅は咲いたか、——はまだかいな
- ⑤ 日本一長いものは367kmあります
- ⑦ イソップ—— 源氏——
- ⑨ 失敗は成功の——
- ⑪ 水戸、尾張に並ぶ徳川御三家
- ⑫ 羽ばたいて飛べるほ乳類
- ⑬ 漢字では「梭子魚」などと書く魚
- ⑮ 草餅によく使われる植物
- ⑯ お彼岸に参る人も多いところ
- ⑰ 弾力がある、噛んで食べる菓子

おたより募集

郵便はがきまたは、Eメールにクイズの答えを下記要領でご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で、10名様にのく商品券(1,000円)をプレゼントいたします。また、「伝言板」と「アートギャラリー」に掲載分もにのくに商品券(500円)をプレゼントさせていただきます。

メールアドレス / ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp
Eメールで応募の際は**件名に「クロスワード応募」とご記入ください。**



- ① クイズの答え
 - ② おたより・イラスト
 - ③ ご意見
 - ④ その他
- ②～④については、各コーナーでご紹介する場合があります。



※お寄せいただいたハガキ・Eメールの個人情報につきましては、各コーナーの目的以外には使用しません。
※氏名の掲載を希望されない方は名前の横にペンネームをお書きください。



※クロスワードパズル
当選者の発表は
賞品の発送をもって
代えさせて
いただきます。

ふれあいスタッフ

三和支店

普及推進係

高尾 愛也

お米愛とスポーツ愛！皆さまと共に成長します！

中学から大学まで、サッカー、器械体操、登山など、さまざまなスポーツに挑戦してきました。今でも野球やスノーボードなど、体を動かすことが大好きです。それ以上にお米は私にとってなくてはならないもの。お米のパワーで、仕事も遊びも全力投球です！ 組合員や地域の皆さまとのふれあいを大切に、皆さまのお役に立てるようこれからも精一杯頑張ります。



▶▶▶▶▶ 12月末 事業取扱高 ◀◀◀◀◀

● 組合員数	● 貯金残高	1,592億6,867万円	● 長期共済保有高	4,198億4,606万円
19,992人	● 貸出金残高	422億8,118万円	● 購買品供給高	8億1,431万円
	● 長期共済新契約高	134億4,407万円	● 販売品取扱高	16億4,255万円

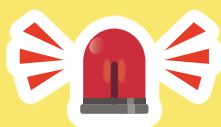
理事会報告

協議事項

- ① 次期3か年における JA 京都にのくにのめざす姿
- ② 2025年度 JA 地域農業振興方策

報告事項

- ① 月例報告
- ② 2024年11月末事業実績の概況
- ③ 第8次3か年計画の進捗状況
- ④ 2024年産万願寺甘とうの出荷販売概要
- ⑤ 2024年度各種茶品評会の結果
- ⑥ 第23回生産振興大会の開催
- ⑦ 2024年度 JA 共済コンプライアンス点検結果
- ⑧ 共済金の支払い状況
- ⑨ 余裕金の運用状況
- ⑩ 金融円滑化の対応状況
- ⑪ 支店活動活性化懇談会の開催結果
- ⑫ 労働組合との交渉結果
- ⑬ 組合員の加入・脱退



JAバンク・JAネットバンクを装った フィッシングメール・偽サイトにご注意ください!

JAバンクをご利用のお客様の貯金を狙った悪質なフィッシングメールが急増しており、偽のJAネットバンクサイトへ誘導する手口が横行しています。このようなフィッシングメールを受信された場合は、**絶対にメール本文中のURLをクリック(タップ)せず、メールごと削除いただきますようお願いいたします。**偽サイトでは、JAネットバンクのログインID、ログインパスワード、暗証番号など、お客様の口座情報や認証に必要な情報の入力を求められます。これらの情報を入力してしまうと、口座から不正に送金されるなどの被害に遭う可能性が極めて高くなります。

万が一、偽サイトに口座情報などを入力してしまった場合は、直ちにお取り引きのJA窓口またはJAネットバンクヘルプデスクにご連絡ください。お客様の大切なご預金をお守りするため、くれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。

JAネットバンクに関する
お問い合わせ先

【JA ネットバンクヘルプデスク】 ☎ 0120-058-098
お問い合わせ時間：平日 9:00～21:00・土日 祝日 9:00～17:00

あとかき

今月も「夢彦ふれあいだより」をお読みいただき、ありがとうございます。

気づけば2月も中旬となり、時の流れの速さに驚かされます。もうすぐ3月。本格的な春の訪れとともに、待ちに待った農作業シーズンがやってきます。日中の寒暖差が大きくなる季節でもありますので、どうぞ体調管理には十分お気をつけください。
(ヒロ)



おたよりをお待ちしています!

夢彦ふれあいだよりでは、読者の皆さまの声を多くご紹介したいと考えています。身近なエピソードや地域の話題、イラストや写真など、どしどしお寄せください。本誌に採用させていただいた方には農産物直売所「彩葉館」などをご利用できる「にのくに商品券」をプレゼントします。

〒623-0053 綾部市宮代町前田20
JA京都にのくに 企画調整室

Eメールでもどうぞ

ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp

※作品・写真は返却できません。おたよりは誌面に掲載する場合があります。
※作品・写真はInstagramで紹介させていただく場合があります。
※応募で記載された個人情報「掲示板」への掲載、プレゼントの発送以外には利用いたしません。



彩菜館 合同大感謝祭

日頃のご愛顧に感謝を込めて、各店舗で大感謝祭を開催します。ぜひお立ち寄りください。

綾部店

2月23日(日・祝)
午前9時～

福知山支店

3月1日(土)
午前9時～

西舞鶴店

3月2日(日)
午前9時～

東舞鶴店

3月1日(土)
午前9時～

当日、600円以上お買い上げの方に、米粉加工グループ「ゆめっこ」さんのシフォンケーキをプレゼント!



4店舗
合計600個

※数に限りがございます。なくなり次第終了とさせていただきます。

働くあなたを応援します。

～給与振込キャンペーン～

2024年11月18日①～2025年3月31日②

新規ご契約者様プレゼント

京都の新しいブランド米



先着50名様

※定員に達した場合QUOカードPayになります

いろんなお店で使える
QUOカードPay
6,000円分



プレゼントの対象となる方

- 1 期間中(2025年3月31日まで)にキャンペーンへご応募いただいた方
- 2 京都府内のJAにて新たに給与振込を指定し、2025年5月31日時点で給与振込(50,000円以上/月)が確認できた方

ご応募はこちらから!

ご紹介者様へのプレゼントも実施中!!
詳しくはこちらへどうぞ



※キャンペーン開始までの直近1年以内に、京都府内のJAで給与振込の取引実績がない方を対象とします。※給与振込のご指定には、お勤め先の所定のお手続きが必要です。※お勤め先のお振り込み状況によっては、システム上「給与振込」と認識されない場合があります。「給与振込」以外の種別のお振り込みでお受け取りの場合は対象外となります。予めお勤め先にご確認ください。※新規ご契約者様のプレゼント進呈は、お一人様一回限りです。※他の給与振込キャンペーンと重複した場合、対象外となる場合がございます。※プレゼントをお渡しする前に給与振込の取り引きがなくなった場合、本キャンペーンの対象外とさせていただきます。

2026年度 職員募集のお知らせ

来春、大学・短大・専門学校等を卒業される方、社会人として経験のある誠実で活力ある人材を募集しています。

JAは一般企業と違い、組合員が出資し、協同活動によってお互いの利益を高めていくという、人と人とのつながりを大切にする組織です。地域の農業を振興し、地域社会に貢献するとともに、全国段階まで連合組織が整備された日本中に仲間の広がる団体でもあります。また、厚生年金、健康保険、退職金制度等、社会保障の制度も整備しています。

地元の農業と農家のために、やる気と熱意のある方の応募をお待ちしております。

募集対象 来春大学、短期大学、専門学校を卒業される方、及び、40歳(昭和60年4月2日以降に生まれた方)までの社会人経験者

募集人員 15名程度 **受付期間** 随時

応募書類 ①履歴書(学校所定またはJIS規格)
②各学校所定の書類(卒業見込証明書、成績証明書)

一次試験 筆記、適性検査・作文(5月予定)

二次試験 面接
一次試験合格者に文書で通知します。

採否の決定 2025年6月1日以降に通知いたします。



詳しいことは、右記までお問い合わせください。> 京都丹の国農業協同組合 企画管理部 〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田 20

人事総務課

TEL 0773-42-2092

E-mail jinji@ja-kyotoninokuni.or.jp